

現中学2年生が高校に入学する令和8年4月開校(予定)

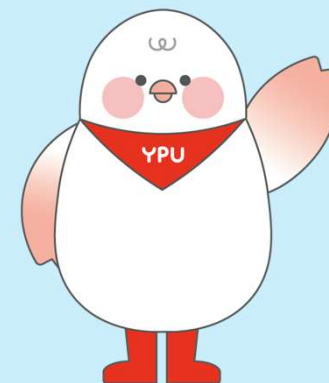
山口県立大学

附属高等学校

学 校 説 明 会

説 明 内 容

- 1 附属高校の設置理由・経緯
(県立大学の特色・現周防大島高校の魅力を含む)
- 2 附属高校の概要・学びの仕組み
県立大学への進学・附属高校への進学



公式マスコットキャラクター
「わいぴよ」

※県立周防大島高校は、令和8年度から県立大学の附属高校に変わります。

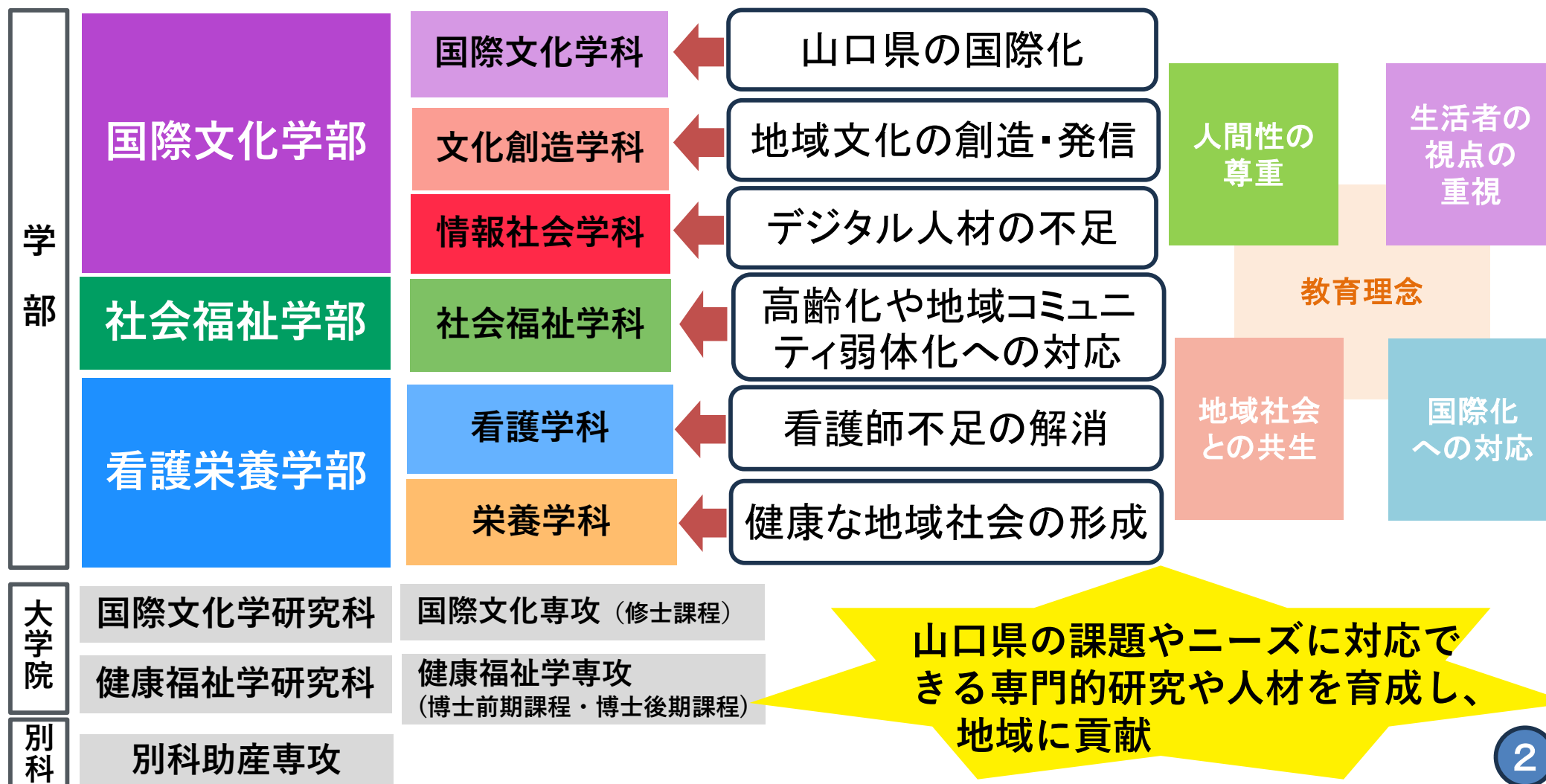
附属高等学校設置準備室

山口県立大学の特色

- ・ 創立**83**年(1941年設立)
- ・ **3**学部**6**学科、2研究科、別科助産専攻
- ・ 学生**1,378**人、教員**117**人(特任含む)、職員**107**人
- ・ 山口県**唯一**の**県立**大学

POINT 県立大学は**地域貢献型の大学**

POINT **少人数制・きめ細かな教育**
手厚い指導・近い教員との距離
就職決定率**100%**



附属高校の設置の経緯

令和3年3月、山口県において「山口県新たな時代の人づくり推進方針」を策定

人口減少、少子化の進行、若者の県外流出が続く中、グローバル化の進展や社会全体のデジタル化など、社会状況や地域のニーズの大きな変化に対応するため

【県立大学のあり方】

- 本県が設置する大学として、本県が抱える政策課題や地域ニーズに対応していくことができるよう、学部・学科の見直しも含め、県内大学等との機能分担や連携、担うべき人材育成・研究拠点機能のあり方などについて検討

令和4年3月、山口県と山口県立大学で「山口県立大学将来構想」を策定

時代や社会の変化に対応し、地域とともに未来を切り拓く大学であり続けるため

- | | |
|----------------|---------------------------|
| ■ 国際文化学部の再編 | ■ 社会福祉学部・看護栄養学部の充実 |
| ■ 子ども・子育て支援の貢献 | ■ 地域・企業・ 高校等との連携強化 |

令和5年4月、「山口県立大学高大連携の推進強化に関する検討協議会」を設置

附属高校の設置の経緯

山口県立大学高大連携の推進強化に関する検討協議会における検討

- ◇設置目的 山口県立大学将来構想に基づき **今後の高大連携の方策について協議**
- ◇委員構成 10人（外部有識者、山口県、山口県教育庁、山口県立大学）
- ◇検討事項 ①**附属高校の設置に関すること** ②その他高大連携の推進強化に関すること

	附属化候補校	協議の状況等
第1回	☐ 公私立高校等【73校】 （通信制は除く）	☐ 設置方法は、新設ではなく 既存の県内高校の設置者を変更
第2回	☐ 公私立高校【約30校※】 ※本学と連携協定を結んでいる高校や自治体にある高校、または本学の教育課程と円滑に接続できる専門学科設置校  ☐ 県立高校【9校】	☐ 私立高校関係者の意見を踏まえ、 私立高校は除外 ☐ 県立高校のうち、 本学との接続が困難な工業科設置校等は除外
第3回	☐ 県立高校【5校】	☐ 8つの観点※ により検討 ※①本学教育課程との円滑な接続 ②本学との連携実績 ③本学との近接性 ④大学等への進学状況 ⑤本学への入学実績 ⑥高校生の通学環境 ⑦高校への志願・入学状況 ⑧地域課題への取組状況
第4回	☐ 県立高校【3校】	☐ 高校の教育活動と本学の教育とのマッチングの視点 により検討
第5回	☐ 県立高校【1校】 ➤周防大島高校に決定 （令和8年4月の開校を目指す）	☐ 高校の教育活動の内容を 更に精査※ ※第4回の後に附属化候補校の校長へのヒアリングを実施 ①教育的関連が見込まれる本学の学科数 ②地域課題の解決に向けた取組状況

周防大島高校を附属高校へ（選定理由）

令和5年9月、山口県教育委員会に要望書を提出

- 附属化対象校 山口県立周防大島高校（大島郡周防大島町）
- 開校時期 令和8年4月（目標）

【県立周防大島高校を附属化対象校として決定した理由】

- ① **現在の教育活動・内容が、本学の全ての学科と教育的つながり**があり、本学が目指す高大7年間の一貫した教育理念による人材育成において大きな成果が期待
- ② **地域課題の解決等に向けた様々な取組は、本学が行おうとしている「広い視野を持って課題解決に挑戦することの意義を理解させること」において有用であり、これまでの実績を活かした教育を展開できる**ことから、本学が目指す人材育成において大きな成果が期待
- ③ 高等教育に接する機会が少なく**他県への若者流出が多い県東部地域において**、県央部に目を向けてもらうきっかけとなり、**県外流出の防止が期待**

周防大島高校の教育活動・内容

◆教育的つながり

- ・イングリッシュセミナー
- ・ハワイ語学研修
- ・郷土学習
- ・アロハシャツの製作及びファッションショーの開催
- ・日本アワサンゴの研究

◆地域課題の解決

- ・高校を核とした産官学連携（地元の塩を使った商品開発等）
- ・全国のコンテスト等での受賞
- ・国の有識者会議での取組発表

令和5年11月、山口県教育委員会からの回答

- 「山口県立周防大島高校の設置者変更」について了承
- 「令和8年4月の開校を目標」とすることについて了承

周防大島高校

特色ある教育活動

- ハワイ語学研修・姉妹校交流
- フラダンスを通じた交流活動
- アロハシャツの製作
- ニホンアワサングの研究
- 町内施設を利用した郷土学習
- 郷土おおしま発表大会
- 地元起業家による講義
- ※全国のコンテスト等で受賞
- 福祉施設での介護実習
- は一と♥ふくし県大講座
- 看護学生との交流
- 地元の塩を使った商品開発

普通科・地域創生科

山口県立大学

国際文化学部

- 国際文化学科 …山口県の国際化への対応
- 文化創造学科 …地域文化の創造・発信
- 情報社会学科 …デジタル社会への対応

社会福祉学部

- 社会福祉学科 …地域共生社会の実現

看護栄養学部

- 看護学科 …健康増進・疾病予防等の人々のケア
- 栄養学科 …食を通して健康な地域社会の形成

選定理由：地域課題の解決等に向けた様々な取組

「地方創生☆政策アイデアコンテスト」

地方創生☆ 政策アイデア コンテスト 2022

主催 / 内閣府地方創生推進室

共催 / 経済産業省

周防大島“まるまるかぶりつき”プロジェクト

周防大島を、まるまる“観光農園、観光漁場”にして、観光客を呼び込む！



データので 地域を元気に

あなたの分析お待ちしています

周防大島の観光における課題①

周防土居バス停の時刻表

周防土居		平成34年2月4日改正
時刻	先	
9:31		
12:07		
14:49		
16:34		
17:54		
☆ 19:29		

行先・経由等お間違えのないよう、
交通事情等で延着する場合がありますのでご了承願います。
☆印：12/29～1/3の間運休

1日6便
のみ！



島内の観光客の移動手段がほとんどない！

島内の移動にヒッチハイクを導入

いつでも どこでも 手軽に

周防大島ヒッチハイク特区

コミュニケーション ボランティア

島民全員で観光客をおもてなし

観光客の島内移動を安く安全・簡単

2016（第1回）

《最終審査出場》協賛企業賞（日本政策投資銀行）

◆周防大島“まるまるかぶりつき” ～周防大島をまるまる“観光農園、観光漁場”にして、観光客を呼び込む！～

《地方予選通過》※中国地区代表3校を独占

◇民泊修学旅行の充実で周防大島を活性化する！

◇周防大島×外国人観光客 ～外国人観光客を呼び込んで周防大島を元気に～

2017（第2回） 2作品が全国審査へ

《最終審査出場》優秀賞（第2位相当）

◆ヒッチハイク★リッチタイムIN周防大島 ～ヒッチハイクから生まれる島民との交流～

《最終審査出場》協賛企業賞（日本政策投資銀行賞）

◆みかんの島 周防大島をまるごとテーマパーク化 ～空き家や耕作放棄地を活用したオリジナル遊園地～

《地方予選通過》※中国地区代表3校を独占

◇周防大島スローツーリズム ～「しまタビイズム」で定住人口増加へ～

2018（第3回）

《地方予選通過》

◇島民みんな仲良くなレター文通で高齢者と若者をつなぐ試み

2019（第4回）

《最終審査出場》協賛企業賞（JTB賞）

◆大島大橋有料化による島内ツーリズムの促進

2020（第5回）

《地方審査通過》

◇島留学で雇用創出と若者流入！

2021（第6回） 該当なし

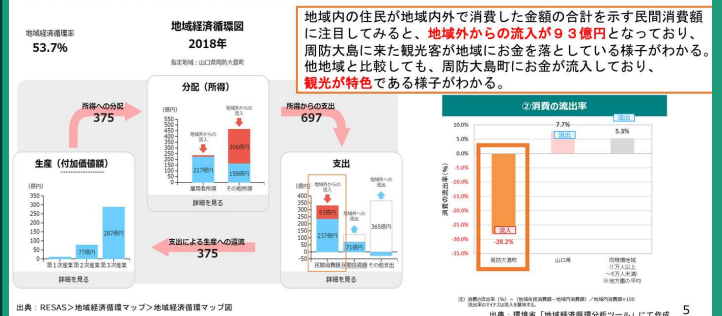
2022（第7回）

《最終審査出場》協賛企業賞（観光予報プラットフォーム賞ほか3賞）

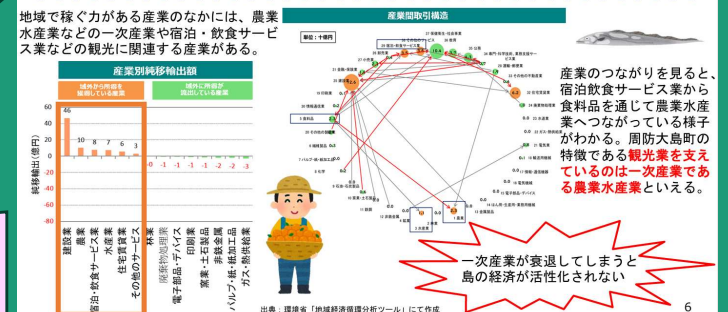
◆みんなで繋ぐ未来の環

2023（第8回） 該当なし ※県予選は1位通過

お金の流れを見てみる



地域外から稼ぐ産業とつながりについて



やまぐち 未来デザイン プロジェクト

全学科混成チームで
地域課題解決のアイデアを創出する



周防大島高校

◆本学の教育内容と関連した
特色ある教育活動を実施

◆地域課題に正面から向き合い
“挑戦し続けている”魅力ある学校



県内最大規模の生徒寮

県立大学が目指す高大一貫教育

～大学と高校が育成する人材像（教育理念）を共有し、協働して、学習者を中心の教育を実施するために～

○社会環境が小家族（核家族）の集合
→希薄な人間関係・交流機会の減少

子どもたちの現状

○親の影響を強く受け、親への依存度が高い子供
→本能的な自立への意識の希薄化

○他との交流を必要としないネット社会→他人との交流を拒む傾向
※自分が行ったネットによる情報収集をもとに外的に提供される限られた情報（フィルターバブル）により異なる意見が目に入らなくなる傾向

加速化

新型コロナ感染拡大の影響（大学）
Web講義の拡大により、学生が直接、
教員や他の学生とふれあう必要性が薄れ、
孤立した生活が常態化

今日の高校生・学生
が直面する課題

自由で豊かな時代を生きながら、他者とのつながりを希薄化させ、心の悩みに遭遇

- ・「人とうまくつきあえない」、「人の噂が気になる」、「無気力」など、様々な心の問題を抱えている高校生・学生の増加
- ・高校生活・学生生活を能動的に送れず、自己の目的を達成できないまま学修を終えてしまう高校生・学生の増加
- ・不登校や、不本意ながら休・退学をする高校生・学生の増加

急激に変化する社会・先の見えない社会

（VUCA）の到来・新たな課題

※VUCA（Volatility・Uncertainty・Complexity・Ambiguity）
変動性、不確実性、複雑性、曖昧性

- ▼第4次産業革命（Society 5.0）
- ▼技術革新（IoT・ビッグデータ・AIなど）
- ▼新興技術（AI、量子、半導体、クリーンエネルギーなど）
- ▼新たな課題（地球規模の課題であるグリーンガス問題など）
※AI技術の急速な発達→今ある仕事の50%はAIに取って代わられると予想
※アジアの国々でもダントツに低い日本の若者のVUCAへの対応力

生徒・学生が生きていく社会

産業界が求める力

指示待ちではなく、自らの問題意識に基づき課題を設定し、主体的に解を作り出す能力

山口県の現状

- ▼山口県の人口減（130万人を割る）、特に18歳人口減と若者（特に女性）の流出
※日本における最大の課題は人口減（地方の衰退の要因）
- ▼山口県で生きる人生設計が見えない
- ▼産学公の本気の教育協働が必要

高校教育の知識偏重
（大学入試のための教育）

進学校では大学入試の対策が主体となっている。
このため、大学入学が目的となり、入学後、
学ぶ意欲に欠ける学生も少なくない。

大学では、学生への対応は多岐に渡り、本来なら
生き生きと課題に積極的に取り組む学生に
教養や専門教育を行うことが困難な状況

県立大学附属高校

設置目的

高大7年間（高校3年+大学4年）の一貫した教育課程や、高校と大学が連携した教育活動を通して、現在の画一化した知識重視の教育ではなく、地域課題の解決等に
必要な知性や行動力を身に付ける教育を展開し、将来、山口県で活躍する人材を育成する。

育てたい生徒像

地域に誇りを持ち（Civic Pride）、地域を愛し、地域を活性化するために、山口県の自然・歴史・文化・産業等を理解し、地域課題の解決等に必要
な知性（答えのない問いについて考える力）や行動力を自ら身に付ける生徒

知性（Intellect）
答えのない問いについて考える力
↑
知能（Intelligence）
明確な答えがある問題について考える力
↑
知識（Knowledge）
ある事柄について知っている内容

附属高校の概要

1 学校概要

課程	設置学科	学校規模	修業年限	場所	その他
全日制課程	普通科	1 学年 3 クラス	3 年	周防大島高校 安下庄校舎	単位制

※これまで、地域創生科の**福祉**コース、**ビジネス**コースで実施していた科目は、**選択科目として、より充実**

2 教育内容の特色

- 生徒一人ひとりの進路希望に対応できるよう **多様な選択科目を開設**
(国際・文化・情報・**福祉**・看護・栄養・**ビジネス**・自然科学等の科目)
- これからの社会に求められる力を育むため、**「データサイエンス教育」**
や「探究学習」、「QOL（生活の質の向上）につながる科目」を充実
- 高大の滑らかな接続に向けて、**県大進学プログラムを2年次から編成し、**
育成型選抜により県立大学に進学
- 大学進学に対応するため、**少人数指導や習熟度別授業を実施**



★地域で活躍する人材の育成
★県立大学・難関大学への進学

附属高校の学びの仕組み

県立大学附属高校の使命

県立大学
との連携

<教育的使命>

○社会的自立と進路実現
(可能性を広げ・伸ばし、希望進路に求められる力の育成)

<育てたい生徒像>

地域に誇りを持ち (Civic Pride)、
地域を愛し、地域を活性化するために、山口
県の自然・歴史・文化・産業等を理解し、地域
課題の解決等に必要な知性 (答えのない問いについ
て考える力) や行動力を自ら身に付ける生徒

<社会的使命>

○地域の活性化に向けた貢献活動
○県立大学との連携による山口県
の課題を解決する人材の育成
○地域の子供たちに高等学校教育
・大学教育の機会の提供

周防大島
の豊かな
地域資源

大学進学

大学入学共通テスト
総合型・学校推薦型

県立大学進学

国際文化・文化創造・情報社会、社会福祉、看護・栄養
(育成型選抜[附属高校枠*])
*最大20名程度

専門学校進学・就職

大学進学コース

県大進学プログラム

先取り履修

探究学習 (PBL)
個人探究 (ゼミ方式)

- 単位制による多様な科目を開設
- 大学進学コースの生徒 (県大進学プログラム生を含む)
もこれらの科目を選択可能
-   は科目群
-  は県大と関係の深い内容の科目群

看護

栄養

国際

自然科学

文化

ハワイ語学研修

情報

ビジネス

探究学習 (PBL) グループ探究

福祉

探究学習 (PBL) 出前講義 (県立大学・山口県職員・周防大島町) フィールドワーク

※国語・数学・英語の少人数・習熟度授業を展開

データサイエンス教育 (デジタル×専門分野) の充実

普通科
(45分×7限)

3年

2年

1年

入学者選抜

特色選抜 (専願)

一般選抜 (専願・併願)

連携選抜 (専願)

一般的な大学入試の種類

社会の変化



求められる力が変わってきた

変化に
気が付く力

これまで
知識・技能の
量と正確さ

急速・急激な変化
予測不可能（想定外）
正解のない社会

これから

知識や技能とともに

自分で考え、判断、表現し仲間と一緒に取り組む力

一般 選抜

大学入学資格を満たせば誰でも受験できる
入試方式（大学ごとに指定された試験を受
験し、その得点で合格者を決定）

学校 推薦型 選抜

高校の校長の推薦があれば受験で
きるという入試方式

公募制

指定校制

総合型 選抜

エントリーシートなどの受験生か
らの提出書類の他、面接や小論文、
プレゼンテーションなどを課し、
受験生の能力・適性や学習に対す
る意欲などを時間をかけて総合的
に評価する入試方式

学力を重視

高校での
経験や成績
を重視

学部・学科
への適性や
学ぶ意欲
を重視

○導入大学
増加

○入学割合
増加

普通科に開設する特色ある科目（案）

○学習指導要領
が示す専門学科の科目
※学校が独自に開設する
科目（学校設定科目）

赤色下線は大学の授業科目を参考とした科目

()は位置づける教科

自然科学系科目

※環境科学 α （未来創生）
（アワサンゴ）
※環境科学 β （未来創生）
（環境）

情報系科目

○マーケティング（商業）
○商品開発と流通（商業）
○情報処理（商業）
○ソフトウェア活用（商業）
○情報デザイン（情報）
○情報の表現と管理（情報）
○コンテンツの制作と発信（情報）
※IT基礎
（未来創生）

福祉系科目

○社会福祉基礎（福祉）
○介護福祉基礎（福祉）
○介護実習（福祉）
○介護総合演習（福祉）
※レクリエーション援助技術（福祉）
○コミュニケーション技術（福祉）
○保育基礎（家庭）
※健康スポーツ理論（体育）
○生活支援技術（福祉）
○食文化（家庭）
○フードデザイン（家庭）
○管理栄養士基礎（家庭）
○公衆衛生基礎（家庭）
○健康スポーツ理論（体育）
○こころとからだの理解（福祉）
○スポーツV（体育）
（野外活動）
○スポーツVI（体育）
（体づくり運動）

栄養系科目

看護系科目

ビジネス系科目

○簿記（商業）
○原価計算（商業）
○財務会計Ⅰ（商業）
○ビジネス基礎（商業）

スポーツ系科目

国際系科目

○ビジネス・コミュニケーション（商業）
○グローバル経済（商業）
※ビジネスマナー（商業）

※時事英語（外国語）
※英語理解（外国語）
※英語表現（外国語）

附属高校の教育課程（案）

○選択科目群により多様な進路希望に対応 全員が履修する科目（白文字：学習指導要領で定められた必履修科目）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35

1 年 次	(すべての生徒が共通)																																			
	現代の国語	言語文化	歴史総合	公共	数学Ⅰ	数学A	化学基礎	生物基礎	体育	保健	芸術(選)	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	家庭基礎	社会福祉基礎	総合的な探究の時間	L	H	R																	

2
年
次

<大学進学コース>

※ 県大進学プログラム生も共通

キャリアビジョンの構築＋探究学習

論理国語	古典探究	地理総合	数学Ⅱ			体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	総合的な探究の時間	選択科目群A	選択科目群B	選択科目群C	選択科目群D	LHR
------	------	------	-----	--	--	----	----	--------------	--------	-----	-----------	--------	--------	--------	--------	-----

<キャリアコース（仮称）>

※大学進学コース以外

探究学習（グループ探究）

論理国語	国語表現	地理総合	数学Ⅱ	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	総合的な探究の時間	選択科目群A	選択科目群B	選択科目群C	選択科目群D	選択科目群E	選択科目群H	LHR
------	------	------	-----	----	----	--------------	--------	-----	-----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-----

3

年

次

大学進学コース

論理国語

古典探究

体育

英語コミュニケーションⅢ

論理・表現Ⅱ

探究の時間

総合的な

選択科目群A

選択科目群B

選択科目群C

選択科目群D

選択科目群E

選択科目群F

選択科目群I

L

H

R

大学進学コース (県大進学プログラム生)

探究学習 (個人探究 (ゼミ形式))

論理国語

古典探究

体育

英語コミュニケーションⅢ

論理・表現Ⅱ

探究の時間

総合的な

先取り履修探究学習

選択科目群A

選択科目群B

選択科目群C

選択科目群D

選択科目群F

L

H

R

キャリアコース (仮称)

※大学進学コース以外

論理国語

国語表現

数学Ⅱ

体育

英語コミュニケーションⅡ

探究の時間

総合的な

選択科目群A

選択科目群B

選択科目群C

選択科目群D

選択科目群E

選択科目群F

選択科目群G

選択科目群H

選択科目群I

L

H

R

16

"QOL" と "Well-being"

社会福祉基礎

QOL※の向上

※Quality of Life
【生活（人生）の質】

Well-beingの実現

家庭基礎

総合的な探究の
時間

県大の教育理念

生活者の視点の重視

地域社会との共生

人間性の尊重

国際化への対応

選択科目群に、進路に応じて各科目をバランスよく再編成（案）

凡例

大学進学希望者

総合型・推薦

就職・専門学校進学希望者

＜基幹選択科目群＞

科目群A(3単位)

地理探究（3年）
日本史探究
世界史探究
物理（3年）
化学
生物
理科基礎探究※

グローバル経済
簿記（2年）
服飾手芸
生活支援技術
スポーツVI

科目群B(2単位)

地理探究（3年）
日本史探究
世界史探究
政治・経済
数学B
数学C
物理基礎【2年前期】

管理栄養士基礎※
発展情報※（3年）
社会福祉基礎（2年）
健康スポーツ理論※

簿記（2年）
ソフトウェア活用（3年）
こころとからだの理解

科目群C(2単位)

公民探究※
数学B
物理基礎
地学基礎
化学
生物

フードデザイン（2年）
エッセイの制作と発信（3年）

生活支援技術
介護実習（3年）
情報処理【2年後期】
原価計算（3年）
音楽II（3年）

科目群D(2単位)

数学C
物理【2年後期】
地学基礎
時事英語※

食文化（3年）
公衆衛生基礎※

ビジネス基礎【2年前期】
原価計算（3年）
情報の表現と管理（3年）
介護福祉基礎（2年）
介護総合演習（3年）
音楽理論（2年）

＜基幹選択 補完科目群＞

科目群E(2単位)

科学と人間生活
数学探究α※
数学探究β※（3年）

財務会計Ⅰ（3年）
ビジュ・コミュニケーション
IT基礎※

科目群I(2単位)

数学Ⅲ
英語表現※

コミュニケーション技術

財務会計Ⅰ
スポーツⅡ
ソルフェージュ

＜専門実践科目群＞

スキルアップ① 科目群F(3単位)

発展日本史探究※ 発展世界史探究※
数学Ⅲ
物理探究※ 生物探究※

環境科学α※
こころとからだの理解
スキルアップα※（総合型・推薦選抜対応）

スキルアップβ※（就職等対応）

スキルアップ② 科目群G(2単位)

英語理解※
マーケティング
ビジネスマナー※
情報デザイン

地域とつながる 科目群H(2単位)

保育基礎
環境科学β※
商品開発と流通
スポーツV
演奏研究（2年のみ）
レクリエーション援助技術※

進路別履修モデル①（例）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35																																		
<大学進学コース> <u>理系大学進学希望者</u> 赤文字：進路に応じて選択した科目																																		
2 年次	論理 国語		古典 探究		地理 総合		数学Ⅱ				体育		保健	英語コミュニケーションⅡ				論理・ 表現Ⅱ		情報Ⅰ	総合的な 探究の時間		化学		物理 基礎		数学B		物理		L H R			
	論理 国語		古典 探究		体育		英語コミュニケーションⅢ				論理・ 表現Ⅱ		総合的な 探究の時間	物理		政治 経済		化学		数学C		数学 探究 β		数学Ⅲ		数学Ⅲ		L H R						

（特徴）共通テスト 理科・数学2科目対応

＜大学進学コース（ 県大進学プログラム生 →国際文化学科）＞																	
2年次	論理国語	古典探究	地理総合	数学Ⅱ		体育	保健	英語コミュニケーションⅡ		論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	総合的な探究の時間	グローバル経済	世界史探究	地学基礎	時事英語	LHR
3年次	論理国語	古典探究	体育	英語コミュニケーションⅢ		論理・表現Ⅱ	総合的な探究の時間	先取り履修探究学習				スキルアップ α （プレゼン）	世界史探究	政治経済	公民探究	食文化	LHR

＜大学進学コース（ 県大進学プログラム生 →情報社会学科）＞																
2年次	論理国語	古典探究	地理総合	数学Ⅱ		体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	総合的な探究の時間	日本史探究	日本史探究	情報処理	地学基礎	LHR
3年次	論理国語	古典探究	体育	英語コミュニケーションⅢ		論理・表現Ⅱ	総合的な探究の時間	先取り履修探究学習		スキルアップα(プレゼン)	グローバル経済	ソフトウェア活用	数学B	数学C	LHR	

（特徴）大学での学びにつながる科目選択可能

育成型選抜を意識したプレゼン対策に対応する「スキルアップ α 」を選択可能。

育成型選抜以外の各種受験に対応（共通テストで地歴や数学2科目に対応）できる選択可能。

進路別履修モデル②（例）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35

<キャリアコース（仮称）>

赤文字：進路に応じて選択した科目

ビジネス系 専門学校進学・就職希望者

目指す資格等：簿記検定・情報処理検定、全商英語検定

2 年次	論理国語	国語表現	地理総合	数学Ⅱ	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	総合的な探究の時間	簿記	簿記	情報処理	ビジネス基礎	科学と人間生活	スポーツⅤ	LHR
3 年次	論理国語	国語表現		数学Ⅱ	体育	英語コミュニケーションⅡ	総合的な探究の時間	グローバル経済	ソフトウェア活用	原価計算	原価計算	財務会計Ⅰ	スキルアップβ	マーケティング	商品開発と流通	財務会計Ⅰ	LHR

福祉系 専門学校進学・就職希望者

目指す資格等：介護職員初任者研修修了資格

2 年次	論理国語	国語表現	地理総合	数学Ⅱ	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	総合的な探究の時間	生活支援技術	社会福祉基礎	生活支援技術	介護福祉基礎	科学と人間生活	レクリエーション援助技術	LHR
3 年次	論理国語	国語表現		数学Ⅱ	体育	英語コミュニケーションⅡ	総合的な探究の時間	スポーツⅥ	こころとか らだの理解	介護実習	介護総合演習	ビジネス・コミュニケーション	こころとか らだの理解	ビジネスマナー	育 保基礎	コミュニケーション技術	LHR

保育・音楽系 専門学校進学・就職希望者

2 年次	論理国語	国語表現	地理総合	数学Ⅱ	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	情報Ⅰ	総合的な探究の時間	服飾手芸	管理栄養士基礎	フードデザイン	音楽理論	科学と人間生活	演奏研究	LHR
3 年次	論理国語	国語表現		数学Ⅱ	体育	英語コミュニケーションⅡ	総合的な探究の時間	スポーツⅥ	健康スポーツ理論	音楽Ⅱ	公衆衛生基礎	ビジネス・コミュニケーション	スキルアップβ	ビジネスマナー	保育基礎	ソルフェージュ	LHR

（特徴）「スキルアップβ」や「ビジネスマナー」を選択することで、就職試験対応やプレゼンスキルなどを学ぶことができる。

県大進学プログラムによる育成型選抜

※詳細は検討中

育成型選抜とは

本学で求められる資質・能力を、大学と附属高校で協働して育成しながら、その過程・成果・展望を、教育理念及び各学科のアドミッション・ポリシーに基づいて、多面的・総合的に評価する選抜。

県立大学の入試体系

山口県立大学

総合型選抜

一般選抜

学校推薦型選抜

- 地域貢献人材発掘枠
- 県内高校枠

**附属高校枠
(育成型選抜)**

最大20人程度

県大附属高等学校（県大進学プログラム生）

高校3年

入学のための準備

(大学受験に向けた学び)

県大進学プログラム

入学後の学びの準備

(大学での学びに向けた意欲・能力・行動力)

大学

**リーダー的
役割の発揮**

山口県立大学

面接

志望
理由書

プレゼン*

成果物

*例えば、「高校での学びを踏まえた大学で学びたいこと」など

山口県立大学附属高等学校

3年

県大進学プログラム

データサイエンス教育

学力保障

先取り
履修

伸ばす
探究学習(PBL)

広げる

1年

- 大学入学共通テストにおいて各学科の指定する教科・科目の学習(合格者には受験を推奨)
- そのためのカリキュラムを実施

- 県大の基盤教育※や集中講義等で開講される授業科目の一部を受講(※I群 生命・生活・人生を探究する科目を中心に)

県大進学プログラム生限定

- 県大進学を見通した個人探究(ゼミ方式)
- 県大のゼミに参加

- 進路希望を踏まえたグループ探究(国際、文化、情報、福祉、看護、栄養、自然科学、ビジネスなどの分野横断的な探究学習を行う)

- 県大の学生等による支援

- 出前講義(山口県立大学・山口県職員・周防大島町関係者)
- フィールドワーク

- ◆ レポートや確認テストの評価
- ◆ 受講科目の履修

- ◆ ゼミ等個別面談を受けてのレポート

- ◆ 探究成果発表・プレゼン等のポートフォリオ

- ◆ 出前講義、フィールドワークのポートフォリオ

附属高等学校

山口県立大学

入学

周防大島高校生

現在の教育内容

R6年度入学生
高校3年生
(現高校1年生)

R7年度入学生
高校2年生
(現中学3年生)

附属高校生

新しい教育内容

R8年度入学生
高校1年生
(現中学2年生)

卒業

進学

附属高校生

(学校推薦型選抜)
附属高校枠※

国際文化学部

- 国際文化学科
- 文化創造学科
- 情報社会学科

社会福祉学部

- 社会福祉学科

看護栄養学部

- 看護学科
- 栄養学科

※附属高校枠は最大20名程度

◇高校と大学が連携した取組(昨年度)◇

周防大島高校→県立大学

《大学の授業

・地域課題発表会への参加》

やまぐち未来デザイン

プロジェクト発表会

《大学施設の見学》

県立大学訪問 など

県立大学→周防大島高校

《高校の授業

・地域課題発表会への参加》

郷土おおしま発表大会

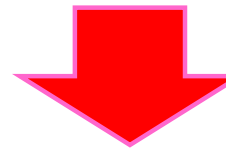
《大学の講義》

出前講義

《高校生と大学生による企画会議》

“島じゅうキャンパス”

チャレンジ&エコツアー など



更に充実



連携型中高一貫教育

■ 中高一貫教育の3つのパターン（山口県）

連携型の中学校・高等学校	併設型の中学校・高等学校	中等教育学校
周防大島高校 (周防大島中学校・大島中学校)	岩国高校・下関西高校[R8~] ・高森高校(高森みどり中学校)	下関中等教育学校
異なる設置者の中学校・高校 で6年間連携した教育課程	同じ設置者の中学校・高校 で6年間一貫した教育課程	1つの学校として6年間一貫 した教育課程
中学校入学試験なし	中学校（前期課程）入学試験あり	
連携入試は調査書及び学力検査の 成績以外の資料による実施が可能	併設中学校から高校への 入試はなし	高校入試なし
高校進学段階で他中学校からの入 学可能・他の高校への進学も可能	高校進学段階で他中学校からの 入学可能	後期課程進学段階での入学不可

■ 連携校の概要

【周防大島中学校】

所在地：周防大島町久賀4823

生徒数：130人(全学年)

【大島中学校】

所在地：周防大島町西屋代2598

生徒数：62人(全学年)

【周防大島高校】

所在地：周防大島町西安下庄489

生徒数：219人(全学年)

連携型中高一貫教育

■ 周防大島町内における連携型中高一貫教育

○平成13年4月 橘・東和地域連携型中高一貫教育開始
連携校：東和中学校、日良居中学校、
安下庄中学校、安下庄高校

コンセプト・推進目標

豊かな自然環境の中で、
一人ひとりの夢を実現する
学校づくり

○平成19年4月 周防大島高校開校、周防大島地域連携型中高一貫教育開始
連携校：東和中学校、日良居中学校、
安下庄中学校、周防大島高校

確かな学力と豊かな人間
性を身につけ、一人ひと
りの夢を実現する学校

○平成20年4月 久賀中学校を連携校に追加
連携校：東和中学校、日良居中学校、
安下庄中学校、久賀中学校、
周防大島高校

地域の生徒を地域で育て
る教育の実践

○平成21年4月 大島中学校を連携校に追加 ※平成21年3月、日良居中学校閉校
連携校：東和中学校、安下庄中学校、
久賀中学校、大島中学校、
周防大島高校

○令和3年4月 周防大島中学校開校 ※令和3年3月、東和・安下庄・久賀中学校閉校
連携校：大島中学校、周防大島中学校、周防大島高校

新しい連携型中高一貫教育

新しい連携型中高一貫教育の方向性

コンセプト

多様な交流と地域の絆の中で、夢が広がる学校づくり

柱となる教育活動

多様な交流

中高生・地域が、
県立大学の学生と
交流する機会を創出

校中高
行高
事合
の同
充の
実学

の生地
推か域
進しの
た特
教長
育を

動な力学
のがの習
充る向意
実教上欲
育にや
活つ学

な学中学
接校の校
続の滑と
高
等

夢が広がる学校

県立大学との交流に
より、将来を見通
し、選択肢を拡大

※連携校…（周防大島町）周防大島中学校、大島中学校（山口県立大学）附属高等学校

地域貢献・活性化に向けた取組の充実

○郷土おおしま発表大会

※町内施設の巡回実施を検討

○ふれあいみかん収穫作業

※連携校合同実施の再開を検討

○イングリッシュセミナー

※小学生やペリースクールなど、多様な交流を検討

○島内各地域で開催されているイベント等に
中高生が計画的・積極的に参加

※安下庄海の市、大島夢さくひろば祭り、道の駅サザンセットとうわ、
大島一周駅伝大会、サザン・セット大島ロードレース大会など

学習意欲や学力向上につながる取組の充実

○中学校合同学習会 ○中学生入学前教育

○高校教諭による中学生への進路相談

○中学校教員によるカウンセリング

○県大進学者による学校紹介・体験談

新規

○FOTプログラム ～未来は今日広がる～
(Future Open Today)

新規

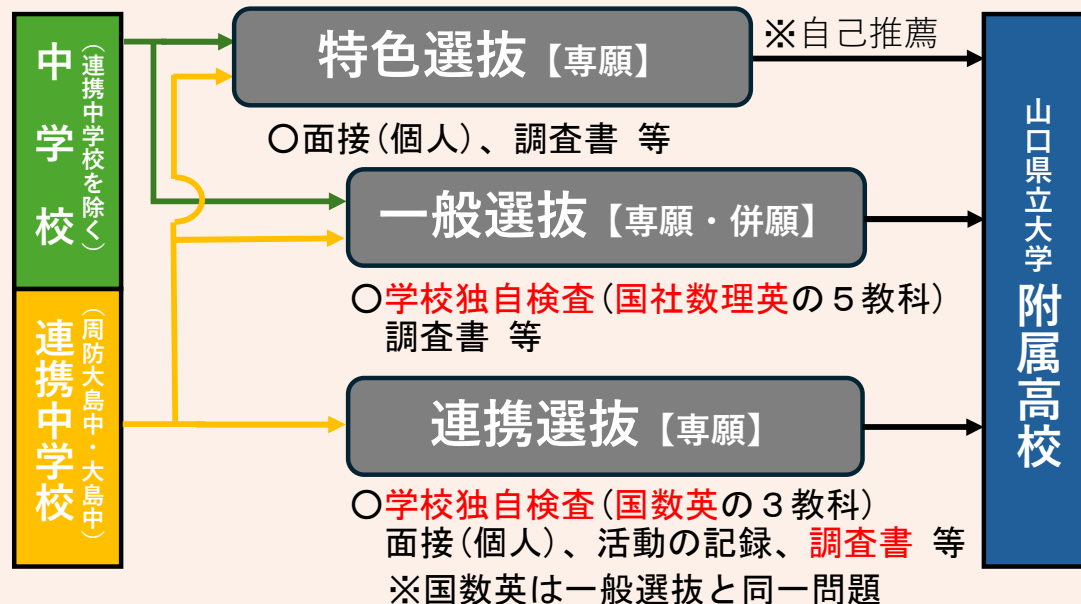
※県立大学の学生や教員による学習支援や出前講義等を実施

連携選抜

○2月上旬頃、国語・数学・英語の学校独自検査
及び面接を実施

県立大学附属高校の入学者選抜（現中学2年生以降）

■ 選抜の種類・資料



■ 設置学科・入学定員

○普通科・3クラス規模

■ 通学区域

○定めない

■ 各選抜の試験会場・日程 ※一般選抜と連携選抜は同日実施

	試験会場	出願開始	出願締切	試験	合格発表	入学手続
特色選抜	高校と大学* （2か所）	12月下旬	1月上旬	1月中旬	1月中旬	1月下旬
一般選抜	高校と大学* （2か所）	1月上旬	1月下旬	2月上旬	2月中旬	2月下旬（専） 3月中旬（併）
連携選抜	高校のみ	〃	〃	〃	〃	2月下旬

※試験会場の「大学*」は山口市内の会場を検討中

《参考》県立周防大島高校の入学者選抜

【令和7年度】

□ 選抜の種類・資料

- 推薦入学【専願】※学校長推薦
面接、調査書 等
- 第一次募集【併願】
学力検査（国社数理英の5教科）、
面接、調査書 等
- 第二次募集【併願】
面接、調査書 等
- 連携型入学【専願】
面接、活動の記録 等

□ 設置学科・入学定員

- 普通科・60人 地域創生科・30人

□ 通学区域

- 県内全域
※県外からの受入枠：入学定員の30%以内

□ 各選抜の日程

	出願開始	出願締切	試験	合格発表等
推薦入学	1月下旬	1月下旬	2月上旬	2月中旬
連携型入学	〃	〃	〃	〃
第一次募集	2月中旬	2月下旬	3月上旬	3月中旬
第二次募集	3月中旬	3月中旬	3月下旬	3月下旬

中学生の受験機会の拡大とともに、附属高校の特色ある教育活動（大学との接続や豊かな自然を活用した体験活動など）を県内はもとより広い範囲から選択できるようにする

現中学2年生が高校に入学する令和8年4月開校(予定)

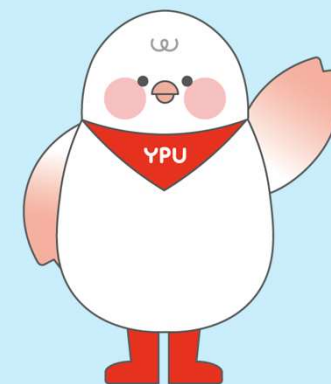
山口県立大学

附属高等学校

学 校 説 明 会

説 明 内 容

- 1 附属高校の設置理由・経緯
(県立大学の特色・現周防大島高校の魅力を含む)
- 2 附属高校の概要・学びの仕組み
県立大学への進学・附属高校への進学



公式マスコットキャラクター
「わいぴよ」

ご質問等がありましたら、附属高等学校設置準備室
(fuzoku@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp)まで